

# 平成8年度 特別会計 事業会計 予算

平成8年度の特別会計・事業会計の  
予算をお知らせします。

## 各会計の予算 ( )は前年度比

|               |                      |
|---------------|----------------------|
| ■地域汚水処理事業特別会計 | 850万円 (+14.8%)       |
| ■下水道事業特別会計    | 10億4000万円 (+22.3%)   |
| ■国民健康保険特別会計   | 12億6738万4千円 (-0.4%)  |
| ■老人保健特別会計     | 18億6933万8千円 (-2.9%)  |
| ■水道事業会計(支出)   | 7億9186万8千円 (+1.3%)   |
| ■ガス事業会計(支出)   | 10億2808万2千円 (+13.7%) |

### 下水道事業

平成8年度も昨年度に引き続き、汚水・雨水幹線及び面整備にあたります汚水の枝線管渠の布設工事を実施して、くとも、鳥原汚水中継ポンプ場の用地取得を考慮した予算としたため、前年度より一億九千万円増の予算となつた次第です。予算額は、前年度比二・三パーセント増の十億四千万円です。

主な財源としては、国庫支出金二億五千万円、一般会計繰入金二億二千九百三十九万八千円、町債五億四千四百六

### 地域汚水処理事業

前年度比七十八戸増を見込む

汚水処理を開始して二年目に入る平成8年度については、汚水処理戸数を前年度比七十八戸増の百四十八戸を見込んで編成いたしました。予算額は前年度比十四・八パーセント増の、八百五十万円で、使用料五百六十六万六千円、一般会計繰入金二百六十三万八千円を計上いたしました。

### 国民健康保険

健康づくり推進事業などで  
国保事業の安定をはかる

平成8年度は、四月改定予定の医療費などを勘案し予算計上しました。

健康づくり事業の支援と  
レセプト点検事業など、  
効果的に推進します

### 老人保健

老人保健の制度が発足して十三年が経過しましたが、老人一人当たりの医療費が県下最高という状態であり、一般会計及び国保会計の負担が増加し、大変苦慮しています。

### 水道事業

安全な水を安定的に供給するために、  
水質監視の強化等浄水場施設の整備などを  
推進する

### ガス事業

安全対策の強化と安定供給の推進を図るべく消費機器の調査や制圧器分解点検整備などを実施し、経営の健全化を図る

安全な水を安定的に給水するため、水質監視の強化、粉末活性炭注入設備工事等浄水場施設の整備及び老朽管の更新等の事業を推進し、経営の健全化に努めます。

電力、石油等の他エネルギーとの競合等、厳しい経営環境にありますが、安全対策の強化と安定供給の推進のため消費機器の調査や制圧器分解点検整備、マイコンメーターの取り付け及び老朽管の更新等の事業を行い、経営の健全化に努めます。

主な内容としては、給水戸数で前年度比三百九十四戸増の八千三百三戸を予定し、収益としては、前年度比三・五パーセント増の五億八千五百万四千円を予定しています。

また、施設の改善に要する費用として、前年度比十六・四パーセント減の二億三千六百五十万五千円を計上しました。

供給戸数は前年度比二百三十戸増の七千六百四十戸を予定し、収益では前年度比八パーセント増の九億二千九百七千円を予定しています。

また、施設の改善に要する費用として、前年対比五十一・六パーセント増の一億二千六百二十二万九千九百九十九円を計上いたしました。

### 公債費 6億6089万7千円

(+5475万8千円)  
町債(町の借金)の返済。  
・町債償還金(95件分) 3億4159万4千円  
・町債償還金(128件分) 3億1230万3千円

### 議会費 9565万7千円

(+53万8千円)  
・議員報酬(22人分) 5815万2千円  
・議員期末手当 2229万2千円  
・議員共済会負担金 526万7千円  
・議長交際費 51万5千円  
・会議録調製委託料 224万9千円

### 諸支出金 3666万6千円

(+252万2千円)  
おもに将来に備えての積立金  
・財政調整基金積立金(利子分) 523万8千円  
・減債基金積立金(利子分) 518万8千円  
・教育施設整備基金積立金(利子分) 233万4千円  
・ふるさと創生事業基金積立金 250万円  
・都市整備基金積立金(利子分) 130万9千円  
・役場庁舎建設基金積立金(利子分) 15万2千円  
・地域福祉基金積立金 1700万円

### 予備費 1000万円

(0)

### 災害復旧費 50万円

(0)

### 労働費 15万円

(-7万円)

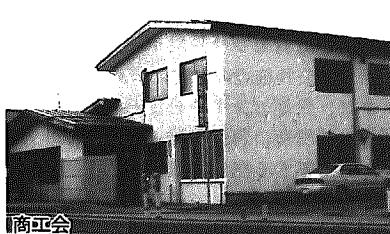
・労働者信用基金協会出損金 15万円

### 商工費 1億7177万7千円

(+54万4千円)

当町の商工業をとりまく環境は、依然として厳しい状態が続いています。そのため、町の融資制度資金である商工業近代化資金については、融資条件の改善を行い対応してきました。8年度は融資対象者枠の緩和を図り、また、産業育成資金の貸付業務や近代化資金の利子補給についても引き続き実施いたします。更に、商工会に対し補助金を交付して商工業者に対する経営の指導、育成事業の一層の充実を図って頂きます。また、中小企業が人材育成のために派遣する研修受講料の一部を補助します。

- ・産業育成資金貸付金 6000万円
- ・商工業近代化資金貸付金 5000万円
- ・持家住宅建設資金貸付金 422万円
- ・黒崎町商工会補助金 930万円
- ・黒崎まつり補助金 730万円
- ・中小企業人材育成研修受講料補助金 20万円



商工会

### 消防費 5142万5千円

(+367万5千円)

地域防災・消防・救急体制の充実については、地域住民の尊い生命、財産を災害から保護するため、消防署、団は常に住民と一体となって事業に取り組みます。

- ・常備消防費 1225万9千円
- ・消防団員報酬(255人分) 548万9千円
- ・消防施設費 1577万円



出初式

### 農村公園「宮の森・木場城公園」を完成させる

### 農林水産業費 4億4688万6千円

(-7022万5千円)

新規事業として、黒鳥地区の横江排水路の一部1200メートルほどを水環境整備事業で親水公園的な景観を創造するため、調査費を計上しました。また、木場地区の農村公園「宮の森・木場城公園」を完成させ、この事業の基であります農村総合整備モデル事業の竣工式を11月に計画しています。

水田転作について、町は従来通りの補助金対象作物にプラスして保全管理・青刈・調整水田にも10アールあたり3千円の助成金を出すことにしました。また、農協からもご理解をいただき、町の助成金の上のせとして10アールあたり2千円の助成金を出すことになりました。

担い手対策は、園芸部門の強化を目的としたハウスのリース事業を園芸施設化促進緊急対策事業として農協が行いますので支援します。

町民農園については、第二町民農園を立込地区に約30アールで40区画を計画しています。無農薬、有機農法が理解されるよう努力していきます。

- ・農業委員会費 1349万3千円
- ・農業振興費 3551万8千円
- ・新生産調整推進対策費 1418万1千円
- ・農村総合整備事業費 2億4066万円

(うち工事費 2億632万1千円)

- ・農村環境改善センター管理費 1177万6千円
- ・農地費 9068万9千円
- ・県営地盤沈下対策事業負担金870万4千円、県営広域営農団地農道整備事業負担金1003万1千円、県営農免農道事業負担金649万2千円、団体営農道整備事業負担金638万円など
- ・町民農園事業費 2019万1千円



「宮の森・木場城公園」